平成29年度　フェリス女学院中学校（国語）　解答・解説

解答

一

問一　ア　4　イ　1
問二　三（人兄弟の）二（番目）
問三　3
問四　4
問五　1・2・5
問六　この子さえいなかったら苦労はない
問七　3
問八　3
問九　冷たい血：6　熱い血：5
問十　2
問十一　1
問十二　1
問十三　2
問十四　1
問十五　4
問十六　2
問十七　●正義感が強い　●気が強い
問十八　着物をぬらし、はだかで家に帰った次郎は、母や祖母にしかられたが何があったかを話さなかった。そんな次郎に感服した恭一は、いじめられていたところを次郎に助けられたことを母と祖母に話した。それから母は次郎を見直すようになったが、祖母は特に態度を変えることはなかったので、恭一はそんな祖母から次郎をかばうようになった。次郎は自分らしく堂々と生きていくようになった。

二

問一　問いの観点ですべてを見聞きし、答えを思いつくまで待つ行為。
問二　自分でじっくり考えるより、ネットで調べたほうがすぐ誰かの答えが探せるという問題。
問三　情報をシャットアウトしたほうがいい

三

一　オ　2　ウ

四

一　模造品　2　険〔しい〕　3　暑中　4　責務　5　幕　6　ちせい　7　きんもつ
8　はくちゅうむ

解説

一

問十八　次郎の気の強い性格や、恭一を従えるようになったことなどから、次郎と恭一の関係が変化したと思われ、その後の展開を考えます。また、祖母のえこひいきは手ごわいが、母は次郎をどうあしらっていいか相談をしたりしていたことから、母はこの一件以来、次郎を見直すようになるだろうということもわかります。

二

問三　直前で「第一次世界大戦で専門書や論文が手に入らなくなり、むしろそのおかげで自分の考えに沈潜することができた」と述べられていることから、ネットや書籍、ほかのメディアなどで情報が手に入らない状態にすることだとわかります。